



学校だより

令和元年11月28日
佐渡市立七浦小学校
学校だより No.9

学級だよりの魅力

校長 山口 明美

朝、児童玄関で子どもたちを迎える時に交わす一言が、一日のエネルギーを与えてくれます。元気にあいさつをしてくれる子、家族との楽しいひとときを教えてくれる子、履いている靴が小さくなった、傘が壊れてしまった等の困っていることを話してくる子等、その子らしさが垣間見れる貴重な時間となっています。また、一日の終わりに、教務室に届けてくれる「さようなら」の響きは、学校生活の楽しさ、満足感を感じさせてくれます。

さて、このような子どもたちの姿が生き生きと綴られているのが、学級担任が発行している「学級だより」です。担任の思いや願いが込められたタイトルがついています。1年生は「おひさま」、2・3年生は「たいよう」、4・5年生は「SMILE（スマイル）」、6年生は「MUGEN～夢現・無限～」です。そこには、日々の教育活動における子どもたちの姿が担任の目を通して丁寧に綴られています。また、学習の予定、保護者への協力依頼等、内容は多岐にわたっています。この学級だよりを読むと、一人一人の子どもの良い姿を知ることができます。今月（11月）は、次のような一コマが綴られていました。

1年生：市内の先生方が国語の授業参観に来ました。子どもたちは緊張していましたが、自動車図鑑を作ろうというめあてに向かって真剣に考えることができました。

2・3年生：家庭学習強調週間が始まっています。今回は、某お笑い番組『M-○グランプリ』にかけまして『じしゅ-1（ワン）グランプリ』を行います。

4・5年生：学びを深めるための校外学習様子を紹介。4年生は総合的な学習で「トキの森公園」見学。5年生は理科で戸地川にて「流れる水のはたらき」の学習。

6年生：栄養士さんの食育指導の後、2グループに分かれて1食分の献立を考えました。どちらかのグループの献立が、給食に採用とのこと。結果が楽しみです。

学校の働き方改革、業務のスリム化が提唱されている中、先生たちは学校と家庭のかけはしとなるこの便りを発行し続けてくれていることに感謝します。尚、この便りは、今リニューアル中の当校のホームページにも一部掲載を予定しています。